



TITLE:

資料紹介:British Museum. General
Catalogue of Printed Books(大英博
物館印刷図書目録)

AUTHOR(S):

CITATION:

資料紹介:British Museum. General Catalogue of Printed Books(大英博
物館印刷図書目録). 静脩 1965, 1(3): 6-6

ISSUE DATE:

1965-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/36238>

RIGHT:

○ British Museum. General Catalogue of Printed Books(大英博物館印刷図書目録)
大英博物館印刷図書部編 v. 1—51 (A-Dez), 1931—54. v. 52—243 (Df-U. S. A. C) (1955),
1959—64 (以下未刊)

大英博物館図書館の600万以上に及ぶ蔵書の大部分をしめる印刷図書の目録である。これは、1881—1900年に発行された Catalogue of Printed Books (95 vols.) と、その補遺篇 (13 vols. 1900—1905 刊) との増補第2版であるが、1931年、v. 1が出版されて以来、いまだに全巻完結していない。既刊のもののうち、v. 1—51を一群とし、v. 52以下をもう一群として考えてみよう。v. 1—51は、年2—3冊づつ、24年間にわたって発行され、各巻は、その発行年の、1、2年前までの蔵書をカバーしているようである。v. 52以下は1955年現在の蔵書を対象に、写真印刷によって、1959年以来出版され、現在、v. 243までできている。同図書館の計画によると、ここ1、2年のうちには、300巻以内で、全巻の出版を完了する筈である。なお、この版に記載されなかった増加図書のために、当然、後日、補遺篇が出るものと思われる。

この目録は、アルファベット順著者目録なので、使用者は、目指す図書の著者名から検索しなければならない(ただし、無著者名図書は書名から)。その他、この目録の特徴を若干あげると、1) 伝記・作家研究等の場合、著者名からはもちろん、被伝者名や、研究の対象となつた作家名からも記入されているので、両者から検索できる。2) 官公庁の出版物は、その官公庁に属する国家名のもとに集められ、国家に関する著作は、その著者名からも、取扱われている国家名からも探することができる。3) 聖典、コーラン等は、“Bible”、“Kur’an”等、聖典名から検索する。それらについて書かれた図書は、1)、2)の例と同じように、著者名からも、聖典名からも検索できる。4) 定期刊行物は、“P”の部の“Periodical Publications”の所に含まれている。そこではまず、定期刊行物の発行地名が、ABC順に並び、各地名のもとに、誌名がABC順に排列されている。しかし、たとえ目的の定刊物の発行地がわからなくても、使用者はなんら困らないだろう。というのは、誌名を、たとえば“Japan Quarterly”を“J”の部で探すと、“See Periodical Publications-Tokyo”と参照記入されているからである。この種の参照記入がこの目録の全般にわたって、豊富に使ってあるので使用者には便利である。5) 記入事項は、著者名、書名、編者、訳者、版次、出版事項、頁付、サイズ等、比較的簡潔に記入されている。

フォード財団よりアメリカ研究基本図書を贈らる

アメリカ研究センター図書室へ

昨年フォード財団からアメリカ研究のための基本図書セットを日本の大学へ寄贈することについて、日本アメリカ研究振興会に申し出があった。同会では、小委員会を設け、立教大学の清水博教授を責任者として審議した結果、東京大学の本間助教授が受贈図書選択のため渡米され、財団その他と協議し、アメリカ研究機関を有する日本の諸大学に受入れることになった。

本学にもその1セットの寄贈を受けることになり、このたび本館アメリカ研究センター図書室に1セット309冊が、昨秋11月中旬に到着した。目下整理中で、2月上旬からひろく閲覧できる見込みである。

このセットには特に社会科学・歴史学関係の図書が多いが、いずれもアメリカ研究のための基本的良書である。

分類別総目録は、同図書室の図書月報第6号として発行される予定である。